

事業評価書

施設名称	酒田市美術館	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
所在地	酒田市 飯森山三丁目17番地の95	評価期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
指定管理者	公益財団法人 酒田市美術館 電話番号 0234 - 31 - 0095	施設所管課	酒田市教育委員会 社会教育文化課 電話番号 0234 - 24 - 2982

施設利用状況	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(計画)	指定管理期間合計
施設開館数(日)	293	275	269	282	290	1,409
利用者数(人)	57,207	58,859	46,761	49,196	42,000	254,023

指定管理業務の収支(円)						
利用料金収入	18,039,460	18,013,700	14,131,460	16,797,630	18,432,000	85,414,250
その他収入	2,979,209	3,740,372	2,030,050	2,348,728	1,957,000	13,055,359
指定管理料	99,151,000	99,151,000	102,672,000	102,672,000	102,672,000	506,318,000
支出	124,928,925	125,136,919	116,984,228	122,776,185	123,061,000	612,887,257
(うち人件費)	19,921,750	20,822,736	22,719,204	23,686,149	24,371,000	111,520,839
(うち修繕料)	1,705,049	1,111,115	898,225	1,599,832	1,500,000	6,814,221
差引	▲4,759,256	▲4,231,847	1,849,282	▲957,827	0	▲8,099,648

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
1 履行状況の評価			
1 業務執行に関する事項			
(1) 業務執行体制	業務執行体制(指揮命令系統、各業務の責任者等)が明確になっているか	○	○
(2) 人員の配置	施設の管理運営に要する人員を効率的に配置しているか	○	○
(3) 有資格者の確保	指定管理業務を遂行する上で必要な有資格者を確保しているか	○	○
(4) 職員研修の実施	職員の指導・研修が適切に行われているか	○	○
(5) 労働環境・条件	適切な労働環境や条件が確保され、労働関係法令が遵守されているか	○	○
2 業務手続きに関する事項			
(1) 再委託の禁止	市の承認なしに業務を第三者に委託、請け負わせていないか	△	△
(2) 再委託の管理	再委託先から報告書を提出させ、再委託業務を適切に管理しているか	○	○
(3) 取扱説明書の整備保管	設備・機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	○	○
(4) 管理記録等の整備保管	業務日誌や点検記録、修繕・故障履歴等が整備・保管されているか	○	○
(5) 報告書等の提出	業務報告書、事業報告書、事業計画書等が適切に提出されているか	○	○
3 施設の維持管理に関する事項			
(1) 点検・保守	施設・設備の点検・保守は確実に行われているか	○	○
(2) 清掃・環境保全	清掃・環境保全(植栽、廃棄物処理、害虫駆除等)が適切に行われているか	○	○
(3) 保安・警備	マスターキー等の鍵の管理は適切に行われているか	○	○
(4) 備品等管理	市で準備した備品等に不足がなく、適切に管理されているか	○	○
(5) 施設・設備修繕	リスク分担に基づく、修繕は適切に行われているか	○	○
4 法令遵守・安全対策に関する事項			
(1) 法令の遵守	法令等で定められた書類を遅滞なく提出されているか	○	○
(2) 個人情報の取扱い	個人情報の漏洩、滅失、改ざんの防止等、適正な管理のため必要な措置を講じているか	○	○
(3) 安全対策の確保	事故防止や避難訓練などの対策が適切に確保されているか	○	○
(4) 緊急時の対応	緊急時の連絡網や対応マニュアル等が整備されているか	○	○
(5) 指定管理者の資格	指定管理者の応募資格に抵触する事項はないか	○	○
総括評価	(うち評価対象項目数 20本)	B	B

＜指定管理者の自己評価＞

再委託の管理について、市には、「事業報告」における「施設管理業務」として、業務名、業者名、業務内容の報告をしているが、年度当初の承認申請は行っていなかった。令和2年度は適切に申請をしている。

＜施設所管課の評価＞

再委託業務の書面承認について、令和元年度においてはなされていなかったため実施を求めた。令和2年度においては年度当初から実施している。

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
2 サービスの質の評価			
1 施設の運営に関する事項			
(1) 開館日等の遵守	開館日・開館時間は守られているか（臨時開館等の手続きは適正か）	○	○
(2) 使用許可の手続き	施設の使用許可は条例等に従い適切に行われているか	○	○
(3) 接遇対応の状況	利用者への接遇対応は適切に行われているか	○	○
(4) 情報発信	利用促進を図るため積極的な情報発信が行われているか	○	○
(5) 苦情等対応	苦情や要望、トラブル等に適切かつ迅速に対応しているか	○	○
2 施設の利用に関する事項			
(1) 施設の平等利用	一部の利用者への不当な利用制限や優遇措置は見受けられないか	○	○
(2) 利用料金の徴収	利用料金の徴収は適正に執行されているか	○	○
(3) 利用料金の減免	利用料金の減免手続きは適正に行われているか	○	○
(4) 事業の実施状況	事業計画書にある事業が計画どおり実施されているか	○	○
(5) 利用状況	利用者数が前年度の実績（又は当初の目標）を上回った（又は達成した）か	○	○
3 業務水準等に関する事項			
(1) 要求水準の状況	指定管理業務の要求水準は達成できているか	○	○
(2) 経費節減の取組	管理に係る経費を節減するための取り組みはされているか	○	○
(3) 地元貢献	地元貢献に資する取組み（地元雇用・地産地消）が行われているか	○	○
(4) 環境対策	環境に配慮した物品購入、省エネ、リサイクル推進等の対応が行われているか	○	○
(5) 自主事業の状況	自主事業の質は妥当であり、利用者ニーズを捉えたものであるか	○	△
総括評価（うち評価対象項目数 15 本）		A	B
＜指定管理者の自己評価＞			
<p>利用状況について、特別展、一般展の観覧者数は、昨年度と同程度であったが、市民ギャラリーや喫茶利用者数が増加し、総入館者数は約2,500人増の4万9,196人となっている。コロナ感染拡大の影響により3月は、失速しており、この影響がなければ総入館者数5万人台を超えていた。一方収支については、近年、会員券収入の減少傾向が続いていたが、歯止めがかり増加に転じ、また、令和元年度は1万人を超える展覧会こそなかったものの、入館料を1,200円に設定した「ホキ美術館展名品展」や幅広い層に人気の「ピーターラビットの世界展」が各々約8,000人の観覧者数となり、入館料収入が、昨年度より約200万の増収となるなど、全体として、約300万円の増収となった。支出については、光熱水費、燃料費の節減に努めたが、「ホキ美術館名品展」の企画料や開催に伴う監視などの人件費が増加したこと、消費税のため、昨年度より約600万増加した。その結果、30年度は単年度黒字を実現したが、令和元年度は約95万円の単年度赤字となった。</p>			
＜施設所管課の評価＞			
<p>令和元年度は、各特別展の入館状況が好調で前年度比で約2,500人増加したが、年度末に新型コロナウイルス感染防止のため休館を余儀なくされたため、入館者5万人に届かなかった。対象を絞った企画展の開催は、入館者増に効果があったと考えられるが、条例と計画の方針「社会包摂と育成」に基づき、より幅広い年代の市民が文化芸術に触れる機会となるような企画展の開催やワークショップやアウトリーチ等の実施等、まわづくり、人づくりを意識したより一層の事業の充実を図る必要がある。</p> <p>2-3-(5) 特別展において、業者によるパッケージ企画から、学芸員の研究成果に基づく企画の比率を高める必要があると認識するため、所管課評価を△としている。</p>			
3 サービスの安定性の評価			
1 指定管理業務の収支	指定管理業務の収支は良好であるか	○	○
2 区分経理の実施	指定管理業務と他の業務の経理区分が整理されているか	○	○
3 経理処理	適正な経理処理が行われており、支払遅延の発生等はないか	○	○
4 現金等の取扱い	現金や金券の取扱い、通帳の管理は適切に行われているか	○	○
5 団体の経営状況	団体の経営状況は良好であるか	○	○
総括評価（うち評価対象項目数 5 本）		A	A
＜指定管理者の自己評価＞			
年度初めの発注事務、年度末の会計処理にやや遅延が生じており、計画的な事務処理により迅速に実施していきたい。		指定管理者自己評価実施日 令和 2 年 5 月 29 日	
＜施設所管課の評価＞			
公金管理、関係書類等の管理も適正に行われている。			
総合評価（各総括評価に基づく評価）			B
＜施設所管課による総合評価＞		評価実施日 令和 2 年 5 月 29 日	
<p>指定管理者として施設の良好な管理を実施している。美術館事業では展覧会活動のほか、地域における美術館・博物館の相互交流、運営能力向上を目的に一般財団法人地域創造の助成事業「オーダーメイド型ゼミ」に応募、実施するなど、外部に向けた取り組みも行っている。企画展については、条例と計画に基づいた「社会包摂と育成」の方針も反映した事業内容も積極的に取り入れるなど、文化芸術の推進役として、市との連携強化を図りながら、一層の事業の充実を期待したい。</p>			
指定管理者選定委員会評価			B
概ね適正な施設運営がなされている。今後は学芸員の研究成果を生かした特別展の充実を図りつつ、来館者数増へ取り組んでいただきたい。		評価実施日 令和 2 年 7 月 22 日	